

## 令和6年度 農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)のうち 農山漁村発イノベーション推進事業(地域活性化型) 事業実施主体 評価一覧

### 1. 事業評価の実施

令和6年度に実施された「農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)のうち農山漁村発イノベーション推進事業(地域活性化型)」の事業について、「農山漁村振興交付金農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記1の第9の2の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

### 2. 事業評価結果の総括

令和6年度に交付金事業を実施した九州農政局管内の5地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。その結果、優良と認められる地区が1地区、良好と認められる地区が0地区、総合的に低調と認められる地区が4地区との評価結果となった。総合的に低調と認められる地区に対しては、重点的な指導、助言等を行う。また、今年度の評価対象ではないが昨年度に重点指導の対象となっていた1地区について、重点指導の結果を評価した。その結果、来年度も引き続き重点的な指導、助言等を行う地区は1地区であった。

### 3. 各地区の評価結果

6件(うち1地区は、今年度評価対象ではないが昨年度重点指導となっていた地区)

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
九州	福岡県	福岡市	小呂島しまづくり協議会	/	/	●	●▼	●▼	▲▼	△	/	C	主要な取組は計画どおりに実施されているが、普及啓発 広報効果の拡大の測定指標である協議会HPのアクセス数が、低調であり、総合的な評価はC評価とした。
九州	熊本県	南阿蘇村	地域資源を活かす会	/	/	/	●	●▼	●▼	△	/	C	主要な取組は、概ね計画どおりに実施され、実施体制も、機能的に取り組める体制であるが、事業実績がC評価であることから、総合的な評価はC評価とした。事業実績は、6つの目標指標のうち、4つについて低調であり、目標に対する事業実績となるよう取組を進める必要がある。
九州	鹿児島県	錦江町	錦江町地域活性化協議会	/	/	/	●	●	●	■	/	A	主要な取組は概ね計画どおりに実施され、事業実績は目標を達成しており、実施体制も3つの部会を設置し、役割分担と実効性を発揮する体制となっていることから、総合的な評価もA評価とした。

九州	熊本県	天草市	新和町地域活性化プロジェクト	/	/	/	/	/	●	●	○	○	○	▼	△	□	□	C	主要な取組は、計画通りに実施され、実施体制も専門となる構成員を配置させ取り組む体制となっているが、事業実績の目標のSNSフォロワー数が低調であり、総合的な評価はC評価とした。
九州	福岡県	福岡市	玄界島島づくり推進協議会	/	/	/	/	/	●	●	○	○	○	▼	△	□	□	C	主要な取組は、概ね計画通りに実施され、実施体制も部会ごとに委員や協力団体を配置させ取り組む体制となっているが、事業実績の交流人口が低調であり、総合的な評価はC評価とした。
九州	佐賀県	神埼郡 吉野ヶ里町	松隈地区活性化協議会	/	/	/	/	/	●	●	○	○	○	▼	△	□	□	C	主要な取組は、概ね計画通りに実施され、実施体制も委員会と部会ごとに構成員を配置させ取り組む体制となっているが、事業実績の商品開発数が低調であり、総合的な評価はC評価とした。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)  
 ハード対策 ☆・・交付対象年度(計画) ★・・交付対象年度(実施済) ◇・・目標年度(計画) ◆・・目標年度(実施済)  
 重点指導 ▼・・重点指導(通知) △・・重点指導(結果報告予定) ▲・・重点指導(結果報告)

(注2) 「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調 評価対象外・・評価対象外

#### 4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記1の第4の2の規定に基づき、第三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

##### 【評価委員会 委員】

委員長:松添直隆(熊本県立大学教授)

委員:須川一幸((株)地域振興研究所 代表取締役)、家入ひとみ(元熊本県職員)

##### 【令和7年度評価委員会の開催概要】

###### 第1回評価委員会

- 1 日時:令和7年7月17日(木) 14:00~16:30
- 2 場所:熊本地方合同庁舎A棟10F 農政第6会議室
- 3 議事概要
  - ① 令和6年度評価対象地区の評価方法について  
本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。
  - ② 令和6年度評価対象地区の評価及び取組状況について  
令和6年度に事業を実施した5地区の、取組概要、評価案及び評価が低調と認められる地区に対する重点指導案に関して説明し、質疑応答を行った。
- 4 主な意見
  - 目標設定について、事業の効果が表れる指標で評価できるよう改めてほしい。
  - 各事業実施主体の取組について、地域住民と共同で事業を実施するよう指導していただきたい。

###### 第2回評価委員会

- 1 日時:令和7年8月20日(水) 14:15~16:30
- 2 場所:熊本地方合同庁舎A棟10F 農政第6会議室
- 3 概要  
第1回評価委員会における質問への回答及び評価結果案の承認。
- 4 主な意見
  - 自然災害に対する体制整備、避難マップの作成、避難場所の確保等が必要である。
  - C評価の中にも事業が進展中、また、取組に尽力している事業実施主体もあるので、今後の取組に期待する。
  - 目標設定が変更可能となるプロセスができないか(農林水産省に対する提言)。

事業実施主体名:小呂島しまづくり協議会

R7年5月28日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	事業名	取組概要
福岡県 福岡市	令和3年度	令和5年度農山漁村振興交付金(地域活性化対策)事業	専門家等の外部の協力を得ながら、離島漁業の未来を創る持続可能な多角的6次産業化システムを構築することを目的とした。現状の第1次産業だけにたよる産業構造から、漁業を生業として形成された、小呂島の生活文化をベースとした2次産業、3次産業など新しい産業を立ち上げるにより、就業の場の確保、所得の向上及び雇用の増大を実現し、地域活性化を図った。

## 1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

主要な取組はおおむね計画どおりに実施され、実施体制も3つの部会を設置し、併せて行政や専門家と連携し、役割を分散させ活動できる体制となっているが、普及啓発、広報効果の拡大の測定指標である協議会HPのアクセス数については、目標を大幅に下回っている。このため、総合的な評価はC評価とした。  
 その中で、時代のニーズに沿った新たな魅力発信方法を模索していることは、評価できる。  
 HPアクセス数に加え、拡散力の高いFacebook、InstagramなどのSNSやYouTubeチャンネルのアクセス数増加にも取り組む必要がある。

## 2. 低調と評価された要因

令和5年10月に地域おこし協力隊が着任し、小呂島公式Instagramアカウントでの情報発信や投稿を委任する形となり、島づくり協議会と連携した情報発信の場の再構築を図ることとなった。運用形態の変更後は、Instagramを活用した情報発信を中心に、時代のニーズに沿った新たな魅力発信方法を模索している状況であったため。  
 また、比較的アクセス数の多いECショップ「小呂島漁師のしまごはん」ホームページにイベント告知情報等を掲載するように仕様を変更したため。

## 3. 目標達成に向けた方策

情報発信源をSNSの主流であるInstagramに絞り、定期的な情報発信を行うとともに、島外から着任した地域おこし協力隊ならではの視点で島の歴史や日常、イベント等の様子が島外の方々に伝わる内容の投稿を定期的に発信できるよう取り組んだ。

## 4. 改善状況

令和4年度末報告時にSNS総フォロワー数120人であったのに対し、令和5年度末報告時では目標値300フォロワーに近い290フォロワーまでフォロワー数が増加した。  
 令和7年度中には令和3年～5年度に本事業で取り組んだ内容を活かし、島内初となる飲食店の開業など島内での新たな取り組みもあるため、引き続き定期的な情報発信に務め、フォロワーの増加のみに留まらず、SNSでの情報発信が来島のきっかけとなり、更なる交流人口の拡大を狙った広報を実施していきたい。